

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年4月4日～2016年4月10日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年4月12日

在ジョージア大使館

1. 外 政

▼内相と独内相との会談(5日)

・訪独中のムゲブリシヴィリ内相がデメジエール独内相と会談。「デ」独内相は、ジョージアから不正にドイツに亡命を申請する者が多いとして、ジョージアを(政治的な迫害のない)「安全国」に指定することを検討していると述べた。不法滞在者対策をめぐる協力に関する覚書に署名。「ム」内相は「デ」独内相をジョージアに招待した。

▼国防相とアゼルバイジャン、アルメニアの国防相との電話会談(4日)

・ナゴルノ・カラバフでの戦闘再開を受け、ヒダシェリ国防相はアルメニア、アゼルバイジャン両国の国防相と電話会談を行なった。「ヒ」国防相は、停戦が成立し、プロセスが交渉の席に戻るよう期待を述べた。また、ジョージアにとって地域の安定が極めて重要であり、国際社会は状況の鎮静化に向けた努力を尽くさねばならないと述べた。

▼外相とアゼルバイジャン、アルメニアの外相との電話会談(4日)

・ジャネリゼ外相はメメディヤロフ・アゼルバイジャン外相およびナルバンジャン・アルメニア外相と電話会談を行なった。「ジャ」外相は、最近の数日間でナゴルノ・カラバフの紛争地帯の状況が深刻化し、一般市民を含む犠牲者が出ていることに極めて深い懸念を表明。また、武力行為の停止と平和の保障が重要であると強調し、状況の鎮静化は地域全体の平和と安定を守るために重要であると述べた。

▼外相のリトアニア訪問(5日-6日)

・ジャネリゼ外相がリトアニアを訪問。リトアニアのプトケヴィチウス首相、グラウジニエネ国会議長、キルキラ国会副議長、リンケヴィチウス外相らと会談。リトアニア・ジョージア両国によるEU・NATO 統合委員会合会合に出席した。

・「リ」リトアニア外相との会談では、二国間協力、ジョージアのEU・NATO 加盟の見通し、被占領地域の状況、ナゴルノ・カラバフ紛争を含む地域情勢などについて議論。貿易、教育、文化などの分野における近年の二国間協力の拡大の傾向が指摘された。

・「リ」リトアニア外相は、ジョージアは間もなくEU 圏への無査証での渡航を許可される資格があるとして、査証自由化プロセスが今夏に成功裡に終了するよう期待を述べた。また、2016年のワルシャワでのNATO 首脳会議においてジョージアの前進が相応しい形で取り上げられるよう期待を述べた。

▼英裁判所が元国防相の送還を拒否(5日)

・英ウェストミンスター裁判所が、政治的迫害の可能性を理由として、ジョージア政府が求めているケゼラシヴィリ元国防相の送還の拒否を3月21日に決定していたことが明らかになった。「ケ」元国防相はジョージア国内で3件の刑事事件について訴追されている。

・2014年2月にも仏エクス・アン・プロヴァンス市裁判所が送還を拒否する決定を下している。

▼国防相のルーマニア訪問(7日-9日)

・ヒダシェリ国防相がルーマニアを訪問。ルーマニアのモトチ国防相、コマネスク外相、オプリショル大統領補佐官らと会談。

・「モ」ルーマニア国防相との会談では、NATO・ジョージア協力、実質的パッケージの実施プロセス、国防分野における二国間協力、地域の安全保障環境などについて議論。共同軍事訓練への両国軍の参加および国防教育における協力も取り上げられた。会談後の共同記者会見で「モ」ルーマニア国防相は、会談では戦略的な観点から黒海地域の重要性がNATO 内で議論されねばならないとの意見で一致したと述べた。

▼ローマ法王のジョージア訪問計画(9日)

・バチカンではフランシスコ・ローマ法王が9月後半にジョージアとアゼルバイジャンを訪問するとの予定を発表。6月末にはアルメニアを訪問する。

・ローマ法王のジョージア訪問は、1999年11月にヨハネ・パウロ2世がジョージアを訪問して以来で2度目。2014年9月にはマルグヴェラシヴィリ大統領がバチカンを訪れて法王と会談を行なった。

2. 内 政

▼NATO週間(4日-10日)

・ジョージア国内ではNATO 週間としてNATO 関連のさまざまな催しが行なわれた。

・4日に行なわれたNATO 国民外交フォーラムでの演説で、クヴィリカシヴィリ首相は、「ジョージアはワルシャワでの首脳会議で政治的および実質的な大きな前進を期待している」と述べた。

▼与党連合からの国民フォーラムの離脱(4日)

・国民フォーラム党が与党連合および与党連合会派からの離脱を発表。声明によれば、与党連合を離脱するが、同党所属の国会および地方議会の議員は「現政府の安定を維持するべく最大限に支援する」。

・国会の与党連合会派からの国民フォーラム党所属議員6名の離脱により、与党連合は82議席となるが、過半数は

維持する。

・同党所属のサニキゼ国会副議長，ミロタゼ外務委員会副委員長，マイスラゼ・セクター経済委員会副委員長，キクナヴェリゼ在外ジョージア人問題担当委員会副委員長はそれぞれ役職を辞任する。

▼大統領が国会選挙の投票日を設定(5日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は首相府にてクヴィリカシヴィリ首相と会談。会談にはジャネリゼ外相，ヒダシェリ国防相，ゴメラウリ国家保安庁長官，スジャシヴィリ内務省情報分析局長，ジャパリゼ国会外務委員会委員長らが同席した。首相府によれば，会談ではジョージアの内政および地域情勢について議論された。

・会談後，「マ」大統領はTVを通じ，国会選挙の投票日を10月8日とすると発表。決定には首相による10日以内の副署が必要。また，会談で内閣改造について議論されたとの憶測を否定した。

▼共和党所属閣僚の辞任に関する共和党党首の発言(8日)

・サムニゼ共和党党首は，ヒダシェリ国防相（共和党所属）にとってワルシャワでのNATO首脳会議への出席が極めて重要であり，少なくとも首脳会議までは国防相の地位に留まるとして，「共和党所属の閣僚は8月に辞任する」と発言。

3. 経 済

▼2016年2月のインフレ率(4日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率はマイナス0.3%。食料品・非アルコール飲料の価格が1.0%低下，輸送費0.8%低下，アルコール・タバコの価格が1.5%上昇。
・年間インフレ率は4.1%。食料品・非アルコール飲料の価格が2.3%，アルコール飲料・タバコの価格が14.0%上昇。医療費が10.2%上昇。輸送費が3.6%低下。

▼露ガスプロムとの合意(7日)

・エネルギー省の発表によれば，ジョージア政府と露ガスプロムは，ロシアがジョージアを経由してアルメニアに供給する天然ガスの10%を輸送料としてジョージアが受け取る契約を今年末まで延長することで合意した。露ガスプロムは輸送料を現金で支払う方式への変更を求めている。

▼首相と「アチャリスツカリ・ジョージア」社代表との会談(8日)

・クヴィリカシヴィリ首相が「アチャリスツカリ・ジョージア」社代表と会談。「ア」社は印Tata Power，ノルウェーClean Energy および国際金融公社（IFC）によって設立され，4億1600万ドルを投じてアチャラ自治共和国で出力187MWhのシュアヘヴィ水力発電所を建設中。「ア」社代表によれば，水力発電所の建設は作業の4分の3が完了しており，2016年秋までに完成する。2017年春に操業を開始する予定。